JAPAN FLUTISTS ASSOCIATION 50th since 1966 Anniversary

音楽のまち かわさき

第18回 日本フルートコンヴェンション2017 in 川崎

ファイナルセレモニー＆コンサート

Final Ceremony & Concert

14:30 ファイナル・セレモニー コンヴェンションコンクール 審査結果発表・表彰式

16:00 ファイナル・コンサート

♪ G.ロッシーニ ： 歌劇「アルジェのイタリア女」序曲

♪ W.A.モーツァルト ： ロンド ニ長調 K.Anh.184
フルート独奏 **エレーヌ・ブレグ**

♪ W.A.モーツァルト ： クラリネット協奏曲 イ長調 K.622 （フルート版 ト長調）
フルート独奏 **フェリックス・レングリ**

♪ F.プーランク ： フルート ソナタ （レノックス・バークリー編 オーケストラ伴奏版）
フルート独奏 **ジュリエット・ユレル**

♪ F.メンデルスゾーン ： ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64 （フルート版）
フルート独奏 **カール=ハインツ・シュッツ**

指揮 **ブノワ・フロマンジェ** **東京交響楽団室内合奏団**

2017年8月20日（日） 14:00 開場

14:30 ファイナルセレモニー
16:00 ファイナルコンサート

ミューザ川崎 シンフォニーホール （JR川崎駅 徒歩3分 / 京急川崎駅 徒歩8分）

全席自由 ： 4500円 チケット取り扱い ： チケットぴあ 【Pコード：338234】

チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999

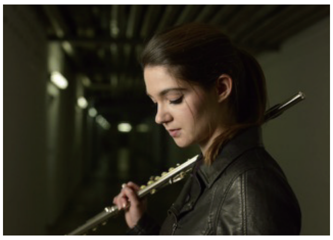
※ コンヴェンション参加の方は、参加証（全日券、又は8/20の一日券）で入場することができます。

※ 川崎市民の方は、500円の割引があります。当日販売のみ、現住所を確認できるものをお持ちください。
ご予約、お問合せは「フルートコンヴェンション事務局」まで

お問合せ：第18回日本フルートコンヴェンションin川崎 事務局 fluteconvention2017@gmail.com

主催 ： 一般社団法人日本フルート協会 共催 ： 昭和音楽大学

後援 ：川崎市、川崎市教育委員会、川崎市文化財団、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、公益社団法人日本演奏連盟
神奈川新聞社、読売新聞横浜支局、毎日新聞川崎支局



エレーヌ・ブレグ　Hélène Boulègue

フランス出身。7歳よりフルートを始めヌヴェール音楽学校を卒業後パリ地方音楽院に入学。その後パリ高等音楽院に入学し半年後の19歳でルクセンブルグフィルハーモニックオーケストラのフルート奏者となる。同音楽院を卒業後渡独。カールスルーエ音楽大学に入学し2015年プラハの春国際音楽コンクール第2位。近年はベルリン交響楽団、ロッテルダムフィルハーモニー、ヨーロッパ室内管弦楽団、パリ管弦楽団など数々のオーケストラと共演。また室内楽奏者としてもILCODEMAトリオのメンバーとして活躍。後進の指導にあたるなど教育者としても認められている。2017年神戸国際フルートコンクール第1位。

フェリックス・レングリ　Felix Renggli

1961年スイス・バーゼル生まれ。フルートをゲアハルト・ヒルデンブラント、ペーター=ルーカス・グラーフ、オーレル・ニコレに師事。ザンクト=ガレン管弦楽団の首席をつとめたのち、オーケストラ奏者、独奏、また室内楽奏者として活躍し世界各地のフェスティヴァルにも招かれている。バロックから現代音楽までの広いレパートリーをほこり、確かなテクニックと堅実な演奏には定評がある。教育活動にも力をそそぎ、師グラーフの後継者としてバーゼル音楽院の教授を、またルガーノ音楽院の教授もつとめている。

日本ではA.ニコレの推薦により、第8回のフルートコンベンション（1997）に参加。以来、武蔵野音楽大学でのマスタークラスなど、すっかりおなじみの存在となっている。

ジュリエット・ユレル　Juliette Hurel

フランス出身。パリ国立音楽院卒。神戸、ブカレスト、ジャン・ピエール・ランパルなどの数々の国際フルートコンクールで受賞し、2004年仏ヴィクトワール・ド・ラ・ムジーク最優秀新人賞受賞。国際的にソリストとして活躍するほか、数々のオーケストラとの共演を行う。2011年に"Impressions françaises"、2014年に"a laube du romantisme"、"Mozart: Flute Complete Four Quartets"をリリース。1998年よりロッテルダム・フィルハーモニー交響楽団の首席フルート奏者。ハーグ王立音楽院教授を経て、現在ロッテルダム音楽院の教鞭をとる。

カール=ハインツ・シュッツ　Karl-Heinz Schütz

オーストリアのインスブルック生まれ。ウィーン国立歌劇場管およびウィーン・フィルの首席ソロ・フルート奏者。ウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学のフルート科教授を務める。シュトゥットガルト・フィル、ウィーン響の首席フルート奏者を歴任。客演奏者として、またソリストとして、世界の名だたるオーケストラと共演し、室内楽奏者としても活躍している。札幌のパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）にも教授陣として招聘されている。レパートリーは古典作品から前衛作品まで広範囲に及ぶ。CDはプロコフィエフ：フルート・ソナタ、ブラームス：フルート・ソナタ、20世紀の合奏協奏曲集、ドップラー：フルート作品集等をリリース。

ブノワ・フロマンジェ　Benoît Fromanger

パリ生まれ。フルートをR.ブールダンおよびJ.P.ランパルのもとパリ音楽院にて学ぶ。パリオペラ座管弦楽団を経て、バイエルン放送交響楽団でソリストをする傍ら、L.バーンスタイン、C.クライバー、L.マゼール、B.ハイティンク、Z.メータ、C.M.ジュリーニ、D.バレンボイムなどの指揮者と共演を重ねる。この素晴らしい経験を生かし、V.ゲルギエフと、有名な教育者ロルフ・ロイターらに指揮を学ぶ。

これまでに、モントリオール・メトロポリタン管やスロヴェニア放送響をはじめ世界各地のオーケストラで指揮をつとめる。2004年よりドイツ国立ベルリン・ハンスアイスラー音楽大学フルート教授。2011年よりブカレスト響音楽監督・指揮者。

東京交響楽団室内合奏団　Tokyo Symphony Chamber Orchestra

東京交響楽団は1946年創立。音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親を擁する。

これまでに文部大臣賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞等を受賞。川崎市、新潟市、八王子市との提携公演や、新国立劇場ではオペラ・バレエ公演の演奏を担当。創立70周年を迎えた昨年10月には、ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国で公演を行い、各地で高評を得た。今回は小編成の室内合奏団として演奏を担当する。

《 第18回日本フルートコンヴェンション2017 in 川崎 》

2017年8月17・18・19・20日、昭和音楽大学に世界からフルーティストが集まります!!

コンサート・ワークショップ・レクチャー・マスタークラス・全国のフルートオーケストラ＆アンサンブルフェスティバル、など

2年に1度のフルート三昧の4日間

どなたでもご参加頂けます、詳しくは「日本フルート協会」ホームページをご覧ください。　http://japan-flutists.org/